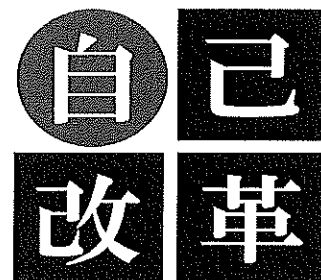


# JAかみはやし自己改革の実践状況（29年度第3四半期）

H29. 11. 30

成果目標実現に向けた 重点施策と3年後の目指す姿	実施具体策	評価指標	目標値			目標値に対する達成率			
			29年度	30年度	31年度	29年度	30年度	31年度	
多様な担い手の支援	担い手経営体に対するJAの個別対応を強化し経営を支援する	○TAC後継者育成 ○個別対応による支援活動強化	重点農家の総合支援	5件	10件	20件	100%		
	担い手経営体に対するJAの個別対応を強化し経営を支援する	○農業者サポート活動（TAC担当以外の農業相談）	訪問件数	50戸/月	50戸/月	50戸/月	75%		
	若手農業者の技術向上と新たな担い手を育成する	○作業時期に合わせた通年の研修会を開催	研修会参加人数	30人	30人	30人	0%		
需要に応じた農産物の計画生産	コシヒカリ以外の生産にも積極的に取組み、安定的・持続的に発展できる地域農業の生産構造を実現するとともに、JA販売事業取扱高15億円を目指す	○需要量に応じた米生産の呼びかけ	生産数量目標達成度	100%	100%	100%	100%		
	コシヒカリ以外の生産にも積極的に取組み、安定的・持続的に発展できる地域農業の生産構造を実現するとともに、JA販売事業取扱高15億円を目指す	○需要に応じた多様な品種構成の作付	コシヒカリ以外の品種作付割合	30%	35%	40%	100%		
	コシヒカリ以外の生産にも積極的に取組み、安定的・持続的に発展できる地域農業の生産構造を実現するとともに、JA販売事業取扱高15億円を目指す	○米・園芸品目の独自販売ルートの開拓	新規取引	1社	1社	1社	0%		
園芸作物の所得向上	園芸重点品目の作付拡大13haを達成する	○園芸導入候補者への呼びかけ ○農業機械の貸出、機械作業の支援	作付面積	ねぎ作付面積11ha	ねぎ作付面積12ha	ねぎ作付面積13ha	90%		
	ねぎ以外の園芸作物作付者を増やす	○栽培期間の短いブロッコリーや稲作作業に応じた作業体系が組めるキャベツ等の新規取組みを推進する	新規戸数	3戸	3戸	3戸	100%		
食農教育を核とした地域の活性化	食育教育の実践により次世代に食、農、JAに対する理解を深めてもらう	○管内小学校への出前授業の呼びかけと見学受け入れ	授業、見学受け入れ	年8回以上	年8回以上	年8回以上	75%		
	JA女性部と連携し、食と地域を守る取組み（成人向け食農教育）充実させる	○郷土料理研修会の開催	講習会開催回数	年3回以上	年3回以上	年3回以上	33%		



食・農・くらしの応援団